



# シルバーだより

No. 292

平成 26 年 10 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

## フラに魅せられて

フラダンス教室講師 佐々木時子

初めてハワイを訪れフラを見たのは、海外旅行がそろそろ一般の人にも普及し始めた頃、アメリカ西海岸ツアーで、ロスアンゼルス、サンフランシスコの帰りにホノルルに立ち寄ったほんの3日間の滞在で、その時ホテルで見たフラショーが、初めてフラとの出会いでした。

その時は、それ程感激もなくただ旅の疲れで、時間を過ごすだけでした。それよりも私がハワイに最初にとりこになったのは、その自然でした。町を離れて少し車で移動した時、明るく強い日差しに緑の山が輝き、そよ風が吹き抜ける林の中では、色鮮やかな羽の鳥が飛び交い、山を下りて海岸に向かうと抜けるような青い空、白い浜辺に白く大きな波が打ち寄せる。鳥の声と波の音以外の音は、聞こえない世界、それはまさしくこの世の楽園のようでした。



次のフラとの出会いは、ハワイに住む友人のお子様の結婚式に招かれた時でした。新婦の友人がお祝いに踊ってくれたフラを見た時、あまりにもその優雅さで、品の良さにすっかり魅了され、これこそ私が求めていた本物のフラだ、と感じ、私の身体を今までにない想いが走りました。

その場で友人にその踊り手を紹介してもらいました。その彼女こそ今私の師匠で有りますメリアカーターその人でした。彼女は6代続いてフラを継承している家柄で、彼女自身フラの最高位のフラの大会で、世界1位の称号を持つミスアロハの一人でした。

それから私のハワイ通いが、始まりました。基本のステップや手の動きは、やさしく真似することは簡単ですが、表面的なエンターテインメントのレベルの下に有るものを深く知る様になると、だんだんその奥の深さに気が付くようになりました。フラは単なる踊りではないのです。ハワイの色々な要素と結び付いています。例えば歴史、伝説、ハワイ語、古くからの宗教、唄、チャント、祈り、詩、日常生活、そして人々、場所、出来事、これらの一連のものがフラと結びつき、理解すればする程難しくまた魅力的になりました。

私にとってフラを理解するにあたり一番の障害はハワイ語でした。ハワイ語を理解できない事は、フラを踊る時の内容をなかなか表現をする事が出来ませんでした。幸いにも最近では翻訳されハワイ語を知らなくても理解できて踊れるようになりました。そのお蔭でフラは世界各国に広まり、フラを愛する人達が増えて来ているのだと思いました。ハワイでフラを習っていた時に印象に残った事は、フラの特徴の一つである自然を利用した衣装です。

特に古典フラを踊る時は、レイや、足首、手首の踊りや葉で作ったスカート等を、踊り手達は自ら山に出かけて踊りに必要な分だけ採集し心をこめて編み上げます。フラにとってレイは単なる飾りではなく、自然からマナという霊力を引き出すために自分の手で作り、使い終わったら元の自然に帰してあげます。そういったことを学び体験するにつれ益々フラの練習に力が入りました。

### 料理教室より・・・簡単レシピ

#### もやしの甘酢煮 (野菜高値時のお助け料理)

材料・もやし1袋(200~250グラム)、人参1/2本、油揚げ1枚(代わりにちくわ・さつま揚げ・魚肉ソーセージ・薄焼き卵でもよい)、だしカップ1杯、しょうゆ大さじ2、砂糖大さじ1.5、酢大さじ2



- ① 人参は3cm長さのせん切り(もやしと同じ位の太さがきれい)
- ② もやしのひげはとつてもとらなくとも可
- ③ 油揚げは熱湯をかけて油ぬきして、縦半分に切り5ミリ巾に切る
- ④ だしカップ1杯にしょうゆ、砂糖、酢を入れて油揚げ、人参を4分間煮る。
- ⑤ さっと水洗いしたもやしを入れて、2分間煮て出来上がり

※冷やしてもおいしいが水とき片栗粉を入れてとろみをつけ温かくして食べても可。

#### 温泉玉子 (何かもう一品ほしい時に、電子レンジを使って簡単に作れます。)

※①②の順序を間違えない事

- ① コーヒーカップに大さじ3の水を入れる
- ② 卵を割り入れ、お皿でふたをする
- ③ レンジで一分間
- ④ タレをかけて出来上がり



## 本郷界隈を歩く

長かった猛暑が和らぎ、秋の気配が感じられる日、私は待ちかねていた散歩に出た。行き先は文京区本郷。本郷は東大のお膝元であったことも一因か文学の香りのする街である。何時もの様に自転車に乗り、不忍通りを湯島方面に向かった。途中で横山大観記念館、旧岩崎邸がある。千代田線湯島駅を右に曲がって春日通りへ出る。湯島天神の横に「切通坂」の説明があり、石川啄木について紹介されている。啄木が朝日新聞社の校正係としていた当時、2晩おきに夜勤があり電車がなくなるとこの道を歩いて帰ったそうだ。歌碑もある。この通りを本郷三丁目まで進み、本郷通りを東大方面に進む。東大赤門前に樋口一葉ゆかりの法真寺がある。老朽化が進み工事中だった。一葉の命日 11 月 23 日には偲ぶ会が催されているが、今年はないそうだ。



本郷郵便局を左に曲がり 2 つ目の路地を入ると徳田秋声旧居宅（本郷 6 - 6 - 9）がある。秋声は明治 38 年から 73 歳で亡くなるまでここで暮らし「仮装人物」などの作品を発表した。20 年も前になるだろうか。高校の恩師の主宰する文学散歩の会の一員として訪ねた時は秋声の息子の奥さんが色々話して下さった。そこから少し歩くと啄木ゆかりの「太栄館」（本郷 6 - 10 - 12）がある。北海道放浪から金田一京助を頼って上京、この 3 階に暫く逗留した。

京助は啄木の良き理解者であり金銭的にも精神的にも援助し続けた。旅館「太栄館」は平成 26 年 6 月で営業をやめ、取り壊しの工事中だった。一度利用しておけば良かった。中を見学させて欲しいと頼んだが断られた。二人が住んだ頃の様子を垣間見ることが出来ただろうに真に残念。富士山が見えて啄木が感激したという窓からの景色も眺めてみたかった。玄関と「東海の小島の・・・」の句碑をカメラに納めてきた。

すぐ近くに「新坂」の表示。江戸時代に拓かれた実は古い坂。この付近には高等下宿が多く、二葉亭四迷、尾崎紅葉、徳田秋声等の文人が多く住んで居た。この坂は文人逍遥の道でもあった。との説明文。急な坂をくんだり左側へ曲がり

右側の細い路地を入ると、一葉が住んで居た頃の井戸が今でも残っている。「金田一京助・春彦旧居跡」「坪内逍遥旧居跡・常磐会館」を見つけた。この辺りは坂が多く夫々に名前と謂われが記されていて、それを読むのも楽しい。東大周辺には「竹久夢二美術館」「弥生美術館」等興味深い場所が沢山ある。思い立った時に少しずつ歩いてみては如何でしょうか。思いがけない発見があったり、地図を手にした同好の人と出会い、意外なこぼれ話等聞けるかも知れません。 9 班 井口和子



## 新教室「楽しい源氏物語教室」説明会のお知らせ



講師：中山幸子先生 会場：第一会議室（生涯学習センター）  
 日時：11月6日（木）午前10時～12時

.....

## 10月の行事予定

期 日	行 事	プログラム
1日 (水)	<u>合同講義</u> 兼杉三枝子 秋のコンサート ピアノ：代島きよ子	曲目：小さい秋・良かった・砂山・ ウィーン、わが夢の街・タイムセイ グッドバイなど
会場：サンパール荒川三階 小ホール 開演 14時		
24～26日 (金土日)	<u>学 園 祭</u>	
	展示：24日/13時半～、25日/9時～17時、26日/15時まで お茶席=25日（10時～）・陶芸作品販売=26日（11時～）	
	会場：ムーブ町屋 3階・4階	

## ◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (9月) ◆◆◆◆◆

2日	常任理事会・役員会 (学園祭他・お茶席券発売開始)	16日	10/1 コンサート打合せ (サンパール荒川にて)
9日	学園祭打ち合わせ (ムーブ町屋にて)	25日	朗読教室発表会
10日	ポスター掲示依頼 (都電営業所)	30日	シルバーだより 292号作成
		29日	学園祭打ち合わせ (ムーブ町屋にて)

## ※事務局だより※

### ① 10月の変更教室のお知らせ：自然と小さな旅教室

日時：22日（水）午前10時～12時に変更（8日は取消）

会場：センター3階 大会議室

### ② 11月の公開教室のお知らせ：11月に限り各教室の授業をどなたでも見学

できます。来年度の申込の参考になさってください。（詳細は11月号にて）

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長・田原

